

# 蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金

---

申込関係書類〔令和3年度事業〕

随 時 募 集

<はじめの一步部門>

記 入 要 領

蒲郡市 市民生活部 協働まちづくり課

新規	・	回目
受付番号		

1 令和3年6月1日

蒲郡市長 鈴木寿明様

2  
団体名 ○○グループ  
代表者名 蒲郡 太郎

令和3年度蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金交付申込書

<はじめの一步部門>

令和3年度蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金交付を受けたいので、蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金交付要綱第6条第1項の規定に基づき、関係書類を添えて申し込みます。

なお、申込事項及び関係書類に関して、原則公開とすることを承諾するとともに、記載した事項は、事実と相違ないこと及び応募した事業に助成金の交付決定がされた場合は、計画から実施まで責任をもって遂行することを誓約します。

1 助成金交付要望額 3 100,000円

2 事業名 4 昔の遊びによる多世代間交流

私たちは、蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金交付要綱の第2条第2項の各号に規定する事業・活動をするものでないこと及び団体でないことに相違ありません。

第1号様式（蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金交付申込書）

記入要領

1 日付

この書類をがまごおり市民まちづくりセンターに提出する日（持参した日）を記入して下さい。（作成日ではありません。）

応募期限は6月26日（土）または8月28日（土）午後6時必着なので、その間の日付となります。

応募期間最終日に申込書を持参しても内容に不備がある場合は受け付ける事ができません。

日程に余裕を持って提出しましょう。

2 団体名及び代表者名

団体名は、会則規約等に記載された団体の正式名称を記入して下さい。

代表者氏名を記入して下さい。

3 助成金交付要望額

助成金交付を希望する額を万円単位で記入します。金額は、1万円から10万円となります。

4 事業名

事業名を記入します。

事業名は実施したい事業内容を簡潔に表すもので、何をやる事業なのかを他の人（特に審査員）が想像できるものが良いでしょう。

令和3年度蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金実施団体概要

①	団体名	〇〇グループ	
②	代表者	氏名 蒲郡 太郎	
		住所 (〒443-〇〇〇〇)	
		蒲郡市〇〇町〇〇番地	
		TEL 0533-〇〇-〇〇〇〇	FAX 0533-〇〇-〇〇〇〇
		携帯電話 090-××××-××××	
E-Mail			
③	団体の事務局の所在地	(〒 — )	
		同上	
		TEL	FAX
E-Mail			
④	連絡責任者 (代表者と異なる場合に記入)	氏名 蒲郡 次郎	
		住所 (〒443-△△△△)	
		蒲郡市△△町△△番△△号	
		TEL 0533-△△-△△△△	FAX 0533-△△-△△△△
		携帯電話 080-××××-××××	
E-Mail kodomo@aaa.bbb.ne.jp			
⑤	団体の設立年月日	昭和〇〇年 〇月〇〇日	
⑥	団体の規約・会則等	(別紙添付)	
⑦	正会員数 (団体構成員)	20人 (うち蒲郡市民の数: 15人) 別紙名簿添付	
⑧	団体の活動目的及び 主な活動と実績(箇条書きで記入してください)	昔からある遊びをしながら、地域のお年寄りと子どもが交流する。	
⑨	直近年度の団体収支 (決算) 報告書	(別紙添付) ※新規団体等で決算年度に至っていない場合は、収支予定(予算)の内容がわかるもの	
⑩	市内の活動拠点	所在地 (〒 — )  ※②、③がともに蒲郡市外の場合にのみ記載してください。	

第1号様式の添付書類（蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金実施団体概要）記入要領

1 欄 団体名

団体名は、会則規約等に記載された団体の正式名称を記入して下さい。

2 欄 代表者

団体代表者の氏名、住所、電話番号、ファックス番号、携帯電話番号、メールアドレスを記入して下さい。（該当がない番号等は記入の必要はありません。）

3 欄 事務所等の所在地

団体事務所等の住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入して下さい。

団体事務所が代表者住所と同じ場合は、同上と記入して下さい

4 欄 連絡責任者

市役所からの書類送付先や事業内容確認の連絡先を記入して下さい。

連絡責任者が代表者と同じ場合は記入の必要はありません。

5 欄 団体の設立年月日

団体の設立年月日を記入して下さい。

6 欄 団体の規約・会則等

団体の規約・会則等を別紙で添付して下さい。会員から会費を徴収することが条件です。

7 欄 正会員数

団体構成員の数とそのうち蒲郡市民の数を記入して下さい。

この助成金で蒲郡市民とは、市内在住者・在勤者・在学者です。

8 欄 団体の主な活動と実績

団体でこれまで活動してきた実績等を記入して下さい。

新規団体で活動実績等が無い場合はその旨を記入して下さい。

9 欄 直近年度の団体収支（決算）報告書

直近年度の団体決算報告書を別紙で添付して下さい。

新規団体で決算年度に至っていない場合は、予算内容がわかるものを別紙で添付して下さい。

決算報告書及び予算はあくまで団体のもので、申し込む事業のものではありません。

10 欄 市内の活動拠点

代表者及び事務所等の所在地がともに蒲郡市外の場合のみ、蒲郡市内の活動拠点を記入して下さい。どちらかが蒲郡市内であれば記入は不要です。

受付番号	
------	--

<はじめの一步部門>

令和3年度蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金事業企画書

(1) 事業名	1 昔の遊びによる多世代交流
(2) 交付要望額	2 1 0 0 0 0 0 円
(3) 事業の区分	3 ※該当する方に○印を付けてください。 事業立ち上げ 事業の充実
(4) 提案事業の計画	4 【事業を提案する理由・目的】 地域内の子ども数が減少し、子どもと一緒になにかをするという機会も少なくなってきました。そこで、お年寄りが中心となり遊びを通して地域と触れ合う機会を設けます。  【助成金を活用する活動・事業内容】 具体的に記入してください。 ① いつ（事業実施時期・期間）： 9月：昔の遊びによる交流 11月：昔の遊びによる交流 1月：昔の遊びによる交流  ② どこで（事業実施場所）： 〇〇公民館、××集会場  ③ 誰（なに）を対象に： 地域のお年寄り、子どもが対象  ④ どのような内容・方法で（事業実施手法）： 地域のお年寄りがベーゴマ、独楽回し、竹とんぼなど昔の遊びを子どもたちに教え、交流を図ります。  ⑤ 期待される効果： 異なる世代の交流をきっかけに、地域内の年齢による交流の壁が取り払われることに期待したい。

第1号の添付書類（蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金事業企画書）  
記入要領

1 事業名

事業名を記入します。第1号様式に記入したものと同じ事業名になります。

2 交付要望額

助成金交付を希望する額を万円単位で記入します。金額は、1万円から10万円となります。  
第1号様式に記入した金額と同額になります。

3 事業の区分

新たに事業を立ち上げる場合は「事業立上げ」に、助成金を使用して既存の事業内容等の充実を図る場合は「事業の充実」に○印を付けます。

4 提案事業の計画

なぜ事業を実施したいと考えたのか、いつ実施するのか、どこで実施するのか、誰を対象に実施するのか、どのような内容・方法で実施するのか、期待される効果を記入します。

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

※審査項目（審査員合計の6割を超えて採点していることが必須です。）

<p><b>【公益性・チャレンジ性】</b> 15/50</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公益性があるか</li><li>・他と同様な活動ではないか</li><li>・困難な課題や未経験の課題解決に取り組んでいるか</li><li>・新たな担い手を取り込んでいるか</li></ul> <p>5</p>	
<p><b>【事業推進力】</b> 10/50</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・代表以外の会員も関わっているか</li><li>・実施可能な事業であるか</li><li>・実施する人手があるか</li></ul>	
<p><b>【継続性・他への波及性】</b> 15/50</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1回だけの事業ではないか</li><li>・継続発展して実施されるか</li><li>・この活動に刺激される他団体が考えられるか</li><li>・活動を発信することを意識しているか</li></ul>	
<p><b>【事業に対する情熱】</b> 10/50</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・どうしても事業を実施したい熱意があるか</li><li>・地域に貢献する意欲があるか</li></ul>	

各項目記入してください。  
箇条書きでも結構です。



第1号の添付書類（蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金事業企画書）  
記入要領

5 審査項目毎にアピールしたいこと

審査員に項目毎でアピールしたいことを具体的に記入します。

実施スケジュール

令和2年度 年間のスケジュール	
4月～6月	
7月～9月	1 9月：昔の遊びによる交流
10月～12月	11月：昔の遊びによる交流
1月～3月	1月：昔の遊びによる交流

第1号様式の添付書類（実施スケジュール）

記入要領

1 事業の実施スケジュール

それぞれの期間で何を実施するのかを記入します。

詳細な実施時期が決まっていない場合は、現在の予定を記入して下さい。

※収支計画書は（A）または（B）どちらかを使用ください

令和3年度 蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金事業収支計画書（A）

区 分	予算額（円）	積算内容
<b>収入の部（名称）</b>		
1		
小 計		
自己資金（負担）	2 4,550 円	
まちづくり事業助成金	3 100,000 円	← 交付要望額を記入
収 入 合 計	4 104,550 円	
<b>支出の部（経費名称）</b>		
5 消耗品費	6 71,050 円	7
ベーゴマ		ベーゴマ 500 円×25 個=12,500 円
独楽		独楽 200 円×25 個=5,000 円
竹とんぼ		竹とんぼ 300 円×25 個=7,500 円
お手玉		お手玉 500 円×25 組=12,500 円
めんこ		めんこ 550 円×25 組=13,750 円
羽子板		羽子板 750 円×12 組=9,000 円
福笑い		福笑い 900 円×12 組=10,800 円
使用料		
××集会場	6,000 円	2,000 円×3 回=6,000 円
印刷製本費	5,000 円	10 円×500 部=5,000 円
活動保険	22,500 円	150 円×50 人×3 回=22,500 円
支 出 合 計	8 104,550 円	

第1号様式の添付書類（蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金事業収支計画書（A））

記入要領

※ 団体の収支計画ではなく、申し込む事業の収支計画となります。

1 収入

事業に自己負担金及び助成金以外の収入（参加費等）がある場合その名称と金額を記入し、小計欄に合計金額を記入します。0円でもかまいません。

2 自己資金

この事業を実施するに当たり、負担する自己資金の額を記入します。  
0円でもかまいません。

3 まちづくり事業助成金

助成金交付を希望する額を万円単位で記入します。第1号様式に記入した金額と同額になります。

4 収入合計

1（収入小計）＋2（自己資金）＋3（まちづくり事業助成金）の合計金額を記入します。

5 経費名称（支出の部）

事業に必要な経費の名称を記入します。

最終的に実績報告書の決算書内訳を作成することを考慮して、記入して下さい。

消耗品は1式計上ではなく、具体的な品目を記入して下さい。

6 予算額（支出の部）

経費名称にかかる費用の金額を記入して下さい。

7 積算内容

何円の物がいくつ必要で何円かかるのか等、予算額算出の根拠となる内容を記入して下さい。

金額はおおよそではなく、見積徴収や、実際に店頭で販売されている価格を調べるなどして、正確な金額を記入して下さい。

8 支出合計

支出の部の予算額合計を記入して下さい。この金額は4（収入合計）と同額となります。

第1号様式の添付書類

※収支計画書は（A）または（B）どちらかを使用ください

令和3年度 蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金事業収支計画書（B）

区 分	予算額（円）	積算内容
<b>収入の部（名称）</b>		
1		
小 計		
自己資金（負担）	2 4,550 円	
まちづくり事業助成金	3 100,000 円	← 交付要望額を記入
収 入 合 計	4 104,550 円	
<b>支出の部（経費名称）</b>		
⑦人件費	6	別紙 7
①報償費：講師・専門家、出演者等への謝礼		
②旅費：講師等の交通費		
③消耗品費：消耗品等（短期に使い切る物品の購入費）		
ベーゴマ	71,050 円	500 円×25 個＝12,500 円
独楽		200 円×25 個＝5,000 円
竹とんぼ		300 円×25 個＝7,500 円
お手玉		500 円×25 組＝12,500 円
めんこ		550 円×25 組＝13,750 円
羽子板		750 円×12 組＝9,000 円
福笑い		900 円×12 組＝10,800 円
④印刷製本費：チラシ、ポスター等の印刷代、コピー代等		
チラシ等印刷代	5,000 円	10 円×500 部＝5,000 円
⑤通信運搬費：切手等の郵送経費、宅配料、振込手数料等		
⑥委託料：専門的知識、技術等を要する業務を外部に委託した費用		
⑧使用料・賃借料：会場等の使用料、機器類の賃借（レンタル）料等（団体所有のものは対象外）		
××集会場	6,000 円	2,000 円×3 回
⑨保険料：火災、地震等の家屋等にかかるものは対象外		
活動保険	22,500 円	150 円×50 人×3 回
⑩その他：その他事業のために必要で、市長が必要かつ適切と認めたもの		
支 出 合 計	8 104,550 円	

第1号様式の添付書類（蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金事業収支計画書（B））  
記入要領

※ 団体の収支計画ではなく、申し込む事業の収支計画となります。

1 収入

事業に自己負担金及び助成金以外の収入（参加費等）がある場合その名称と金額を記入し、小計欄に合計金額を記入します。0円でもかまいません。

2 自己資金

この事業を実施するに当たり、負担する自己資金の額を記入します。  
0円でもかまいません。

3 まちづくり事業助成金

助成金交付を希望する額を万円単位で記入します。第1号様式に記入した金額と同額になります。

4 収入合計

1（収入小計）＋2（自己資金）＋3（まちづくり事業助成金）の合計金額を記入します。

5 経費名称（支出の部）

事業に必要な経費の名称を記入します。

最終的に実績報告書の決算書内訳を作成することを考慮して、記入して下さい。

消耗品は1式計上ではなく、具体的な品目を記入して下さい。

6 予算額（支出の部）

経費名称にかかる費用の金額を記入して下さい。

7 積算内容

何円の物がいくつ必要で何円かかるのか等、予算額算出の根拠となる内容を記入して下さい。

金額はおおよそではなく、見積徴収や、実際に店頭で販売されている価格を調べるなどして、正確な金額を記入して下さい。

8 支出合計

支出の部の予算額合計を記入して下さい。この金額は4（収入合計）と同額となります。

正 会 員 名 簿

(代表者含む)

区分	氏 名 (役職名)	住 所	在勤・在学者はその名称と所在地
1	別 紙		
2	会員の氏名と役職、住所を記入します。 人数が多い場合は会員名簿を別紙として添付して下さい。 住所が蒲郡市外で、蒲郡市内に在勤・在学の場合は、その 名称と所在地を記入します。		
3			
4			
5			
6			
7			
8	会員の合計人数と蒲郡市民の内数を記入します。 蒲郡市民には、蒲郡市内に在勤・在学者を含みます。 名簿作成時の日付を記入します。日付は書類提出日と同日とし て下さい。		
9			
10			
	上記ほか	20人 (うち蒲郡市民： 15人)	
	合 計	人 (うち蒲郡市民： 人)	

(令和3年4月1日現在)

※ この助成金における蒲郡市民とは、市内在住者・在勤者・在学者とします。



# 蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金 審査について

## 〈はじめの一步部門〉

- 公益性が高く、かつ、チャレンジ性や先駆性がある・・・15点
- 事業に対する推進力があり、事業に対する活動団体の統一感がある・・・10点
- 事業の継続性や他への波及が期待できる・・・15点
- 事業に対する情熱が感じられる・・・10点

審査員一人につき、合計50点満点